

## スプリンクラー設備試験結果報告書

試験実施日 年 月 日

試験実施者

住 所

氏 名

用 途	( ) 項		構 造			
延べ面積	m <sup>2</sup>		階 数	地上	階 地階	階
加圧送水装置の種別	方式					
流水検知装置の方式	湿式		乾式		予作動式	
スプリンクラーヘッド	種 別					
	設置個数					
試 験 項 目			種 別・容 量 等 の 内 容			結果
外 観 試 験 機 器 部 分	水 源 (水道の用に供する水管 を水源とするものを除 く。)	水 源 の 種 類・構 造	—			
		水 量	m <sup>3</sup> (縦 m 横 m 有効深さ m)			
		吸水障害防止措置	有 · 無			
		給 水 装 置	—			
		耐 震 措 置	有 · 無			
設 置 場 所						
試 験 機 器 部 分	加 圧 送 水 装 置 を 用 い る も の	ポンプの仕様	製造者名		定格吐出量	L/min
					定格全揚程	m
			型式		製造番号	
	電動機の仕様	製造者名		種別	型電動機	
				定格電圧	V	
		型式		定格電流	A	
	内燃機関の仕様	製造番号		出力	kVA	
		製造者名		燃料種別		
		型式		定格回転数		
製造番号		r/min				

## スプリンクラー設備

(2)

試験項目			種別・容量等の内容	結果
外 加 圧 観 送 水 試 装 も の 験	ポンプ・電動機・内燃機関	設置状況	_____	
		接地工事	_____	種接地
		配線	_____	
		潤滑油	_____	
		燃料タンク	_____	
	水温上昇防止のための逃し装置	蓄電池	_____	
		配管・バルブ類	_____	
		オリフィス等	流過口径 mm	
	ポンプを用いるもの	ブースターポンプに設ける逃し配管・逃し装置	逃し配管の高さ m	
			逃し装置の設定圧力 MPa	
性能試験装置の配管・バルブ類			_____	
試 装 も の 験	呼水装置	材質	鋼板製・合成樹脂製	
		水量	_____ L	
		溢水用排水管	管の呼び A	
		呼水管	管の呼び A	
		補給水管	管の呼び A	
		減水警報装置	フロートスイッチ・電極	
	制御装置	設置場所	_____	
		制御盤	_____	
		予備品等	_____	
		接地工事	_____	種接地
試 装 も の 験	圧力計・連成計	設置位置	_____	
		性能能	_____	級
	起動装置	直接操作部	_____	
		起動用水圧開閉装置	起動用圧力タンク 第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器	
			タンクの容量 L	
		配管・バルブ類	管の呼び A	
		自動式起動装置	閉鎖型スプリンクラーヘッド	_____
			自動火災感知装置	_____
		手動式起動装置	設置場所等	_____
			設置高さ 床面からの高さ m	
		構造	_____	
		表示	_____	
	流水検知装置		_____	
	補助水槽		_____	

## スプリンクラー設備

3

## スプリンクラー設備

(4)

試験項目				種別・容量等の内容								結果								
制御弁				設置場所等																
				設置高さ								m 床面からの高さ								
				構造																
				表示																
外観	流水検知装置・圧力検知装置			設置場所等																
				種別・口径																
				減圧警報																
				構造・性能																
試験	一斉開放弁			起動操作部	設置場所等															
					設置高さ							m 床面からの高さ								
				作動試験装置																
				構造・性能																
試験	末端試験弁			設置場所																
				構造																
				表示																
				音響警報装置																
試験	自動警報装置			火災表示装置																
				設置場所等																
				設置高さ								m 地盤面からの高さ								
				表示																
試験	送水口	設置場所等	結合金具																	
			逆止弁等																	
			減圧措置								減圧補助水槽・別配管系統・減圧弁									
	排水設備（放水型ヘッドを用いるスプリンクラー設備に限る。）																			
補助散水栓等	散水栓	散水栓の設置個数	階																	
			設置個数																	
		設置場所																		
		周囲の状況・操作性																		
		開閉弁の設置高さ		床面からの高さ						m										
ホースの接続等																				

## スプリンクラー設備

(5)

試験項目				種別・容量等の内容	結果	
外観試験 補助散水栓等	散水栓箱	散水栓	消火栓開閉弁	_____		
			周囲の状況	_____		
			設置状況	_____		
			材質等	_____		
			赤色灯	_____		
	ホース・ノズル		表示	_____		
			ホース(結合金具を含む。)	_____		
			ホース接続口	_____		
			ノズル	_____		
			結合状態	_____		
機能試験 ポンプを用いるもの	ポンプを用いるもの	呼水装置作動試験	ホース・ノズル	収納状態	ホースリール式・折畳等収納式	
			減水警報装置作動状況	底面からの高さ cm		
			自動給水装置作動状況	_____		
	ポンプを用いるもの	制御装置試験	呼水槽からの水の補給状況	_____		
			起動・停止操作時の状況等	_____		
	ポンプを用いるもの	起動装置試験	電源切替時の運転状況	_____		
			ポンプの起動状況等	_____		
			起動表示の点灯状況	_____		
	ポンプ試験	※締切り運転時 の状況	起動用水圧開閉装置の作動圧力	設定圧力 MPa		
			作動圧力	作動圧力 MPa		
			運転状況	_____		
			締切揚程	m		
			電圧	V		
			電流	A		
		※定格負荷運転時の状況	定格揚程	m		
			電圧	V		
			電流	A		
	※水温上昇防止装置試験			逃し水量 L/min		
	※ポンプ性能試験装置試験			表示値の差 L/min		
	高架水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況	_____		
		静水圧測定	最下位 MPa	最上位 MPa		

## スプリンクラー設備

(6)

試験項目				種別・容量等の内容				結果
機能試験	加圧送水装置試験 圧力水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況	――				
			自動加圧装置作動状況	――				
	静水圧測定	最下位 MPa	最上位 MPa					
	配管耐圧試験	試験圧力 MPa						
総合試験	手動式起動装置試験				――			
	流水検知装置・表示等				――			
	放水区域							――
	開放型スプリンクラーヘッドを用いるもの	起動性能等	自動火災感知装置による起動					
			手動起動装置による起動					
	階							――
	閉鎖型スプリンクラーヘッドを用いるもの	起動性能等						
		放水圧力 (MPa)						
		放水量 (L/min)						
	補助散水栓	放水圧力			MPa			
		放水量			L/min			
	補助散水栓操作性試験				ホースリール式・折畳等収納式			
	非常電源切替試験	自家発電設備		――				
		蓄電池設備		――				
備考								

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。  
 3 ※印の試験は、「加圧送水装置の基準」(平成9年消防庁告示第8号)に適合している旨の表示が付されているものにあっては、省略することができる。  
 4 結果の欄には、良否を記入すること。  
 5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。  
 6 総合操作盤が設けられているものにあっては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。